

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月31日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ワットマン
 コード番号 9927 URL <http://www.wattmann.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 一郷
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理総務グループ グループ長 (氏名) 渡邊 匡
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 045-959-1100

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	668	△2.2	△9	—	△6	—	△8	—
26年3月期第1四半期	683	△8.5	21	4.6	23	△12.5	△445	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△0.76	—
26年3月期第1四半期	△40.75	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,698	2,126	78.8
26年3月期	2,692	2,155	80.1

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 2,126百万円 26年3月期 2,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,460	8.2	30	△47.7	36	△42.5	28	—	2.55
通期	2,980	8.5	120	19.8	134	10.0	124	—	11.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	11,368,541 株	26年3月期	11,368,541 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	431,264 株	26年3月期	431,264 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	10,937,277 株	26年3月期1Q	10,938,275 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件および業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
5. 補足情報	9
(1) 仕入及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策の効果が下支えする中、消費者物価の緩やかな上昇や企業収益の改善に伴う設備投資の増加が見られる等、国内景気の回復基調が続きました。一方、個人消費については、平成26年4月の消費税増税に伴う駆け込み需要とその反動があり、小売業界において低調な経営環境が続きました。

このような状況のもと、当社は当事業年度を事業拡大期間と位置付けており、成長のための体制づくりとマネジメント力の強化を積極的にすすめてまいりました。

また前期に引き続き、新ブランド「Super Recycle Shop WATTMANN」(スーパーリサイクルショップ ワットマン)のもと、買取・販売する商品種類の拡充等による更なるお客様サービスの向上、コストダウンによる経営効率の向上、及び新規出店等による企業成長を目指しております。

営業政策面では将来の成長に向けて、売筋ジャンルの強化、積極的な買取と査定精緻化を進め、良品在庫の増大に努めてまいりました。また、早期売価変更と売場への継続的な商品供給を行い商品鮮度を維持するとともに、お客様目線の売場づくりを進め、お客様の購買意欲を高め、売上高の増加と売上総利益額・率の向上に努めてまいりました。

店舗政策面では、当第1四半期会計期間において、ワットマンテック・スタイル平塚梅屋店、ワットマンテック・スタイル横須賀中央プライム店を開店し15事業所31店舗となりました。

当第1四半期累計期間の売上高は、前年同四半期と比べ14百万円(2.2%)減収の6億68百万円となりました。これは新店が売上増に寄与いたしましたが、既存店は消費税増税や、新店への商品供給、開店応援等の影響により売上が前年同四半期比8.1%減収となったため全店ベースでも減収となったものです。

商品カテゴリー別の売上高では、新店の寄与により電化製品等が前年同四半期と比べ4百万円(3.5%)増収の1億20百万円、その他が4百万円(6.3%)増収の71百万円となりました。服飾等は新店の寄与があったものの消費税増税や貴金属の減収により前年同四半期と比べ1百万円(0.7%)減収の2億35百万円、パッケージメディア(本・CD/DVD・ゲーム)は主にゲームの取扱を政策的に抑制し21百万円(8.2%)減収の2億41百万円となりました。

売上総利益は、売上が減少したものの、全社の売上総利益率が71.6%と前年同四半期に比べ2.9ポイント増加いたしました。その結果、既存店で前年同四半期と比べ18百万円(4.1%)減益の4億29百万円、開閉店で27百万円(123.9%)増益の49百万円、全社で8百万円(1.9%)増益の4億79百万円となりました。

商品カテゴリー別の売上総利益は、電化製品等が前年同四半期と比べ5百万円(7.0%)増益の83百万円、服飾等が10百万円(6.1%)増益の1億83百万円、パッケージメディアが14百万円(8.4%)減益の1億55百万円、その他が7百万円(14.6%)減益の56百万円となりました。

販売費及び一般管理費においては、フランチャイズ契約解約により販売手数料等が減少したものの、新店舗改装費用、広告宣伝費用、消耗品費等及び、店舗増加に伴う人件費、地代家賃等が増加いたしました。この結果、販売費及び一般管理費は既存店で前年同四半期と比べ32百万円(7.6%)減少の3億95百万円、開閉店で71百万円(342.6%)増加の92百万円、全社合計で39百万円(8.8%)増加の4億88百万円となりました。

この様に新店の立上り途上にあるため、既存店は前年同四半期と比べ14百万円(70.1%)増益の営業利益34百万円を達成したものの、開閉店では44百万円減益の営業損失43百万円、全社では30百万円減益の営業損失9百万円となりました。経常損益は前年同四半期と比べ29百万円減益の経常損失6百万円となりました。

四半期純損失は前年同四半期においてフランチャイズ加盟契約解約損4億50百万円および固定資産除売却損16百万円等の計上があったため、前年同四半期と比べ4億37百万円回復し8百万円となりました。

なお、平成25年3月以前より営業中の事業所を既存店としております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて微減の、11億80百万円となりました。これは主に現金及び預金が14百万円減少し、商品が10百万円増加したこと等によりです。

固定資産は、前事業年度末に比べて6百万円増加し、15億17百万円となりました。これは建物を始めとする有形固定資産が16百万円増加、敷金及び保証金が7百万円減少したこと等によりです。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ5百万円増加し、26億98百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて36百万円増加し、3億1百万円となりました。これは主に、賞与引当金が11百

万円減少、その他流動負債が49百万円増加したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べて微減の、2億70百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ35百万円増加し、5億72百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ29百万円減少し、21億26百万円となりました。これは主に四半期純損失及び配当金等により、利益剰余金が30百万円減少したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年5月12日付の「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて発表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○税金費用の計算

当会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	666,040	651,229
売掛金	24,489	24,285
商品	330,172	340,181
その他	160,272	164,914
流動資産合計	1,180,975	1,180,611
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	389,351	403,389
土地	382,457	382,457
その他(純額)	73,380	75,383
有形固定資産合計	845,189	861,229
無形固定資産	20,242	18,820
投資その他の資産		
投資有価証券	34,721	35,509
敷金及び保証金	574,136	566,677
その他	37,484	35,590
投資その他の資産合計	646,342	637,777
固定資産合計	1,511,773	1,517,828
資産合計	2,692,749	2,698,439
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,576	6,283
1年内返済予定の長期借入金	55,700	58,700
未払法人税等	3,770	4,355
賞与引当金	15,000	4,000
その他	178,447	228,211
流動負債合計	265,494	301,549
固定負債		
長期借入金	126,690	124,265
退職給付引当金	8,467	10,032
その他	136,202	136,202
固定負債合計	271,360	270,500
負債合計	536,854	572,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	1,681,733	1,681,733
利益剰余金	117,990	87,696
自己株式	△57,356	△57,356
株主資本合計	2,242,367	2,212,073
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,253	10,041
土地再評価差額金	△95,726	△95,726
評価・換算差額等合計	△86,472	△85,684
純資産合計	2,155,895	2,126,389
負債純資産合計	2,692,749	2,698,439

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	683,874	668,878
売上原価	213,711	189,739
売上総利益	470,162	479,139
販売費及び一般管理費	449,058	488,516
営業利益又は営業損失(△)	21,104	△9,377
営業外収益		
受取利息	1,404	1,137
受取配当金	1,260	605
受取手数料	1,992	1,680
雑収入	1,667	1,437
営業外収益合計	6,324	4,860
営業外費用		
支払利息	1,293	852
社債利息	920	-
雑損失	1,094	1,094
その他	887	56
営業外費用合計	4,195	2,003
経常利益又は経常損失(△)	23,233	△6,519
特別損失		
固定資産除売却損	16,369	-
店舗閉鎖損失	700	-
フランチャイズ加盟契約解約損	450,000	-
特別損失合計	467,069	-
税引前四半期純損失(△)	△443,835	△6,519
法人税等	1,900	1,900
四半期純損失(△)	△445,735	△8,419

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

当社は単一のセグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 仕入及び販売の状況

1. 商品仕入実績

当第1四半期累計期間における商品仕入実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
リユース事業	電化製品等	44,409	22.2	126.1
	服飾等	53,491	26.8	84.7
	パッケージメディア	85,757	42.9	91.8
	その他	16,090	8.1	120.0
合計		199,748	100.0	97.4

- (注) 1 金額は仕入価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。

2. 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
リユース事業	電化製品等	120,773	18.1	103.5
	服飾等	235,716	35.2	99.3
	パッケージメディア	241,296	36.1	91.8
	その他	71,092	10.6	106.3
合計		668,878	100.0	97.8

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。